

2019年(令和元年)度 第8回理事会議事録

日時：2019年(令和元年)7月5日(金)～16日(火)

方法：電子メールによるメール会議の形で行なわれた。

出席者：八木沼洋行(理事長)、渡辺雅彦、西 真弓、野田泰子、牛木辰男(以上、常務理事)、天野 修、大塚愛二、岡部繁男、尾崎紀之、小澤一史、城戸瑞穂、小路武彦、佐藤 真、篠田 晃、千田隆夫、福田孝一、藤山文乃、堀 修、八木秀司(以上、理事)、木山博資、藤本豊士(以上、監事)

I. 審議事項

1. 議事録署名人の件

定款第39条に基づき、木山博資 監事と藤本豊士 監事に依頼することが確認された。

2. プラスティネーション標本の巡回展示会対応について

Body Worldというプラスティネーション標本の巡回展示会について、日本解剖学会として後援してほしいという依頼があった。常務理事会で確認したところ、営利を目的としており、日本解剖学会が2010年に発表した「人体標本の展示に関するガイドライン」に抵触していることが疑われること、また、プラスチネーション遺体標本の展示については、展示そのものに倫理的な問題が見受けられることから倫理委員会/利益相反委員会に諮問を行ったところ、後援を行わない旨の答申書が提出された。

これを受けて、常務理事会では答申書に基づく回答を行うこと、同様の後援依頼を受けていると思われる日本医学会に対して答申書を添えて報告を行うこと、ならびに、個人的に協力を依頼されることがあると思われる学会員に対しても、OHASYSやホームページを通して学会としての方針を連絡して情報の共有を行うことについて提案を行った。審議の結果、賛成多数にて了承された。

上記の2019年(令和元年)度第8回理事会の議決および確認事項を明確にするため、この議事録を作成し、議事録署名人(監事)はここに記名押印する。

2019年(令和元年) 月 日

一般社団法人 日本解剖学会

議長

署名人

署名人